

令和2年度		自己点検		幼保連携型認定こども園 長坂保育園		実施 状況 A	達成 状況 a
評価項目							
I 福祉サービスの基本方針と組織							
1	○理念が明文化されている					A	a
コメント	マニュアルで明文化されており、ミーティングや園内研修などで確認している。						
2	○理念や基本方針が職員に周知されている					A	a
コメント	ミーティングや園内研修などで周知する取り組みを行っている。						
3	○理念や基本方針が利用者等に周知されている					A	a
コメント	入園の際に説明をし、4月には教育保育過程を保護者へ配布している。しおりやホームページにも記載している。						
4	○施設長自らの役割と責任を職員に対して表明している					A	a
コメント	朝礼や会議等で職員に伝えている。						
5	○遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている					A	a
コメント	研修などに参加して理解を深め、会議や回覧等で伝達している。						
II 組織の運営管理							
6	○職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている					A	a
コメント	必要に応じて、話し合いが行われ、園長や職員間で相談しながら、勤務の形態を変更する等している。						
7	○職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている					A	a
コメント	新人・中堅等それぞれに合った研修に参加できるよう明示されている。						
8	○個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている					A	a
コメント	マニュアルがあり、希望を聞いたり、バランスを配慮したりしながら、様々な研修に参加できる体制になっている。 今年度は新型コロナウイルスのため研修の機会が少なかった。						
9	○定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている					A	a
コメント	研修参加者は復命書を提出し、回覧をして全職員が見られるようにしている。また園内研修等で報告し、共有している。						
10	○実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している					A	a
コメント	マニュアルに明記され、担当者も決められている。実習生の希望を聞きながら計画を立て、職員に周知している。						
11	○実習生の育成について積極的な取り組みを行っている					A	a
コメント	実習ノートに所見を書き、毎日の反省会や責任実習、全体での反省会を行い、アドバイスをしている。 (今年度、八戸学院短期大学1名、仙台青葉短期大学1名、仙台白百合大学1名)						
12	○民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取組を行っている					A	a
コメント	地域の挨拶運動や根城の広場の梅の木の収穫体験などに参加している。 今年度はコロナウイルス感染防止のため、民生委員の方や地域の方との交流が出来なかった。						
13	○近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼する等の配慮をしている					A	a
コメント	年2回の総合避難訓練では、近田会計事務所職員の避難誘導の協力を得ている。園の行事について、ホームページにも掲載する等している。						
14	○中高生などの保育体験を受入れるに当たり、受入れの意義や方針が全職員に理解され、受入れの担当者も決められている					A	a
コメント	マニュアルがあり、計画を立て職員に周知し、担当者も決められている。(今年度根城中学校職場見学2名)						
15	○育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行っている					A	a
コメント	一時預かりや子育て支援の「ふれあい広場」、園庭やルーム開放をしている。子育ての相談に応じる等、育児支援を行っている。						
16	○ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している					A	a
コメント	マニュアルに明記されて、担当者も決まっている。						
		評価項目		NO.2		実施 状況	達成 状況

17	○認定こども園の役割を果たすために必要な地域の関係機関などの情報を収集し、職員が共有している	A	a
コメント	マニュアルに明記している。変更や情報があった場合は会議等で伝達し、共有している。小学校からの手紙等も回覧し、情報を共有している。		
18	○園児の健康状況について、医療機関などに相談や連携ができる体制になっている	A	a
コメント	嘱託医があり、年2回の健診時に相談に応じてもらっている。		
19	○育児相談などに際して、児童相談所などの専門機関に相談や連携ができる体制になっている	A	a
コメント	マニュアルに記載され、相談できる体制になっている。関係機関の連絡先をワークルームに掲示している。		
20	○小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修などの連携の機会がある。	A	a
コメント	今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、小学生と園児との交流の場は無かったが、江南小学校の運動会を見学したり、職員が小学校の参観日に参加したりした。幼保小連絡会や情報交換会など小学校の先生と話し合う機会がある。		
Ⅲ適切なサービスの実施			
21	○利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している	A	a
コメント	マニュアルがあり、会議でも確認をしている。クラスノートやお帳面の置き場所など再度確認し、目に触れないようにしていく。		
22	○利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している	A	a
コメント	意見箱も設置し、年に1度保護者にアンケートを取っている。クラス懇談会でも保護者の要望を聞いている。		
23	○利用者満足の向上にむけた取組を行っている	A	a
コメント	保育についての意見や要望を聞く機会を設け、必要に応じて話し合い、改善できるところは取り組んでいる。父母の会役員会(年2回)で、アンケートについて伝えたり、行事の反省や次年度の計画について話し合ったりしている。		
24	○苦情解決の仕組みが十分に周知され、機能している	A	b
コメント	担当者が決められており、入園のしおりに記載されている。説明の際にも伝え、玄関にも掲示している。苦情があった際には園だよりで報告する仕組みにもなっているが、保護者に十分には周知されていない。		
25	○利用者からの意見等に対して迅速に対応している	A	a
コメント	マニュアルに明記。意見があった場合は園長・園長代理・副園長に報告し、その都度対応し職員間でも共有している。		
26	○教育・保育の質の向上や改善のための取組を職員参加により行っている	A	a
コメント	毎月、職員会議・ワークミーティング・チームミーティング等を設け、取組を行っている。また必要に応じて話し合っている。		
27	○教育・保育の内容について、職員参加により、定期的に自己評価を行っている	A	a
コメント	ワークミーティングで、各クラスの月ごとの評価を行い、他の会議等でも行事での反省や見直しを行いつついる。必要に応じて不都合な点などを話し合い、改善している。また、年度末には1年間を振り返っての自己評価を行っている。		
28	○利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている	A	a
コメント	見守るカルテや児童票に記録し、会議で共有している。0・1・2歳児は毎月の個人目標、3歳以上児は年に3回の保育目標を立てている。個人目標についてみんなで話し合ったり、一人ひとりについてもっと把握できるようにしていきたい。		
29	○利用者に関する記録の管理体制が確立している	A	a
コメント	児童票は園長が管理しており鍵がかかっている所に保管している。月や週のカリキュラム等はワークルームで保管している。		
30	○利用者の状況に関する情報を職員間で共有している	A	a
コメント	一人一人の家庭状況、子どもの発達状況、個人目標など、会議やミーティング等で話し合う機会を設け、共有している。		
31	○情報提供に当たって、わかりやすく伝える工夫や配慮を行っている	A	a
コメント	ホームページやかわら版で園の様子を伝えている。お知らせ等も帳面や玄関に掲示したり、日中の様子も写真で伝えたりしている。4月からモバイルメールを導入し、直接保護者へお知らせなどが届くようにした。		
32	○入所にあたり、利用者等にわかりやすく説明している	A	a
コメント	園長や副園長が園全体の説明、担任が個別の問診やクラスの説明をしている。見学に来た際は園内を回りながら説明をし、新型コロナウイルス感染状況に応じてかわら版で説明するなどしている。		
評 価 項 目		NO.2	実施 状況
33	○一人一人の園児の発達状況に配慮した指導計画となっている	A	a

コメント	0・1・2歳児は毎月の個別計画があり、3歳以上児は年3回個人目標を立てている。 定期的に見守るチェックをしている。配慮の必要な園児の個別支援計画を立てている。		
IV子どもの発達援助			
34	○教育・保育計画が、園の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている	A	a
コメント	アンケートやクラス懇談会の意見等を参考にし作成している。地域の行事も取り入れている。		
35	○指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	A	a
コメント	月案・週案の自己評価をし、ワークミーティングでチェックを行っている。反省や評価が、もっと具体的に指導計画に反映されるようにしていきたい。		
36	○登所時や在園中の園児の健康管理は、マニュアル等があり園児一人一人の発育・発達状況 健康状態に応じて実施している	A	a
コメント	家庭で検温してもらい、登園時には一人一人の様子を「健康観察チェック表」に記入している。新型コロナウイルス感染状況に応じて、園でも検温を行っている。毎月身長体重を測定し定期的にチェックを行っている。		
37	○健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを教育・保育に反映させている	A	a
コメント	結果を保護者に伝え、気になったことや嘱託医からのアドバイスなどは職員間で共有している。		
38	○歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを教育・保育に反映させている	A	a
コメント	連絡帳やおたよりに結果を貼って保護者に伝え園全体の結果をかわら版で伝えている。 看護師が3, 4, 5歳児に歯磨きの話をしている。		
39	○感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	a
コメント	マニュアルがある。看護師が発症状況・病気の内容・予防・配慮事項を会議などで伝えている。 保護者へも玄関のボードやホームページで伝えている。		
40	○食事を楽しむことができる工夫をしている	A	b
コメント	セミバイキング方式の給食で、個人差や体調、食欲に応じて量を加減したり、配膳や後片付けも自分でやっている。 食材に興味を持てるような掲示物やクッキング体験なども行っている。以上児は当番が試食も行っている。 曲を流したり花を飾ったりするなど、忘れていたことがあったので、定着させていきたい。		
41	○園児の喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に生かしている	A	b
コメント	給食の職員が配膳をしたり一緒に食事をしたりしている。献立表を事前に確認したり、チームミーティングで給食の職員と喫食状況などの話をしたりしている。職員会議で改善点などを報告しているが、反映されていないことがあった。		
42	○園児の食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	b
コメント	献立表に家庭でのポイントを記載したり、給食の試食で意見交換などが行われている。 保護者と、食事の詳しい様子の話をする機会が少なかった。		
43	○アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている	A	a
コメント	アレルギー検査の結果を基に、除去食を提供している。アレルギー児は別のテーブルで食べ、トレーの色・食器の色、顔写真、アレルギー食の食器にクリップを付ける等、給食と連携しながら進めている。誤食があったので2重3重の確認を徹底していきたい。		
44	○子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	b
コメント	園児の興味、発達に応じて環境の見直しをしたが、整理整頓や水回りの掃除が行き届いていない所があった。 担当を決めるなどして一人一人がよりこまめに掃除や消毒をしていく。		
45	○生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている	A	b
コメント	季節に合った環境づくりに取り組んでいるが、自然物をもっと取り入れていきたい。 落ちていくつるげる環境の工夫が必要。声の大きさに注意する。		
46	○子ども一人一人の理解を深め、受容しようと努めている	A	b
コメント	心掛けてはいるが、場合によって制止する言葉や待たせてしまう事があったので、意識をしてより気を付けていく。		
47	○基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人一人の子どもの状況に応じて対応している	A	a
コメント	園児のペースや個人の状況に応じて対応や援助を行っているが、急かしてしまうことがあったので声掛けの仕方など気を付けていく。		
48	○子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	b
コメント	職員間で話し合ったりコーナーを見直したり、充実させるように工夫しているが、働きかけが不十分だった。 職員の数などにより活動を制限してしまうことがあった。		

	評 価 項 目	NO.4	実施 状況	達成 状況
49	○身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている。		A	b
コメント	天気の良い日などは散歩に出掛け自然に触れている。新型コロナウイルスのため、例年よりは減ったが博物館や地域の施設に行ったり、根城の広場の祭りに参加したりした。自然物を使った飾りや製作などもっと取り入れていきたい。			
50	○さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている		A	b
コメント	絵画や造形活動は行っているが、表現活動や音楽活動が少なかった。			
51	○遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している		A	a
コメント	当番活動を行い、いつでも異年齢で交流ができるようにしている。0・1歳児と2歳児が交流できる機会は無理なく行った。			
52	○子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している		A	a
コメント	その都度場面に合わせて配慮をし、気になる園児には個別に対応をしている。保護者にも伝えていくように工夫をしていく。			
53	○性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している		A	a
コメント	性差、子どもの発想、態度、言葉、服装、遊び方、職業、育児、家事など固定的な観念を植え付けるような対応をしていない。			
54	○乳児保育のための環境が整備され、教育・保育の内容や方法に配慮がみられる		A	a
コメント	配慮に努めている。うつぶせ寝をさせないようにし、睡眠時はSIDSの確認を5分おきに行っている。定期的にミーティング等で確認も行っている。			
55	○長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる		A	a
コメント	長時間保育の為の環境や内容など配慮している。迎えが遅い園児へのおやつなど、職員間で統一していきたい。			
56	○障がい児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる		A	b
コメント	気になる園児の個人の記録を取り、配慮しながら保育を進めている。個別の支援計画、嘱託医、桂堂学園と連携をとっている。今年度はドアーズの方に関り方のアドバイス等をしてもらった。全体の保護者へも配慮が必要な子へ関する情報を伝えていきたい。			
V 子育て支援				
57	○一人一人の保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている		A	a
コメント	帳面や送迎時に情報交換をしている。クラス懇談会を行い、希望した方は個別面談をする等、必要に応じて情報交換を行っている。			
58	○家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。		A	a
コメント	児童票・見守るソフト等に記載している。また、帳面や必要に応じて相談記録ノートに記録し、会議等で共有している。			
59	○園児の発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている		A	a
コメント	クラス懇談会や園児の発達の様子を見てもらうための参加日等があり、理解を得る機会にしている。			
60	○虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長まで届く体制になっている		A	a
コメント	令和2年度、虐待と思われる児童無し。健康観察チェックや着替えの際に体のチェックを行い、何かあれば速やかに園長に情報が届く体制になっている。			
61	○虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について児童相談所などの関係機関照会 通告体制が整っている		A	a
コメント	マニュアルがあり、体制が整っている。関係機関の連絡先などワークルームに掲示している。			
62	○一時預かりは一人一人の子どもの心身の状態を考慮し通常保育との関連を配慮しながら行っている		A	a
コメント	健康チェックを行い、保護者とのコミュニケーションを十分にとり、一人一人に合わせた保育を行っている。			
63	○調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。		A	b
コメント	水質調査を行っている。マニュアルがあり、毎日掃除を行い清潔に保てるよう心掛けている。調理場は綺麗だが、トイレの手洗い場など、一人一人が意識して丁寧に掃除をし、こまめに確認するようにしていきたい。			
64	○食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応については、全職員にも周知されている		A	a
コメント	マニュアルがあり、園内研修で確認も行った。			

	評 価 項 目	NO.4	実施 状況	達成 状況
65	○事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている		A	a
コメント	けが記録簿をつけ、月1回 ワークミーティングで話し合いの場を設けている。月に1度園内外の安全点検チェックを行っている。 また、事故防止委員が毎月散歩コースの確認を行い、危険箇所を会議で伝えみんなで情報を共有している。			
66	○事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている		A	a
コメント	マニュアルがあり、職員に配布されている。毎月避難訓練を行っている。園内研修でマニュアルの確認を行っている。			
67	○不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。		A	a
コメント	マニュアルがあり、訓練を行っている。18:30以降、大きな扉の鍵をかけ忘れていた事があったので徹底していく。			

(改善できる点や改善方法)

- 0歳 : ・花や野菜を外のプランターで育てる事が出来たが、咲いた花を室内に飾ったり触れたりする事が出来なかった。
園児の手や目に触れられるよう工夫すべきだった。
・離乳食から普通食への移行など、給食の職員と情報を共有できない事があり、まだ家庭で食べていない物を食べさせてしまったことがあった。情報を伝達し合い、共有し誤食の無いよう代用を用意してもらう等していく。
・洗濯機の掃除を週ごとに担当を決めて行っていく。

- 1歳 : ・パズルや型はめなど園児の様子に合わせて出したが、それ以外の中身をこまめに入れ替えが出来なかった。
月末やミーティング等で遊んでいた状況話し合い、入れ替えるようにしていく。
・誤食があったので、アレルギー児のマグネットの移動の確認をしたり、不安なメニューは給食の職員に聞いたりし二重、三重のチェックをする。
・担任は喫食状況を把握しているが、食材の大きさや材料などについて上手く給食の職員と共有出来ていない事があったので、ミーティングを活用したり、その都度気になった事を伝えていく。
・散歩で見つけた花を飾るなどしたが、一緒に葉や枝を拾うなど子どもたちも飾ることを楽しめるように習慣づけ自然物を活用できるようにしていく。
・洗濯機や水道の排水溝、水回りなど掃除の時に意識してきれいにしていく。

- 2歳児 : ・製作などマンネリ化しないよう、自然物を取り入れていく。
・言葉遣いをもっと意識し、気持ちにゆとりを持つようにする。
・一人一人がもっと意識をして、整理整頓をするようにする。
・職員が見守り、自由に表現活動ができるような環境を作る。
・掃除のポイントを口頭だけではなく実際にその場に行って実践し確認し合う。(とらえ方がそれぞれ違うので)

- 3・4・5歳 : ・BGM、花など不足していたので意識して継続できるようにする。
・話し合いのスペース、こじんまり遊べるスペースを作る。
・コロナで保護者とのコミュニケーションがあまりとれなかったため、意識して話しかけたり、情報の発信の仕方を工夫していきたい。
・製作コーナーが解放できない時があったので、日中の活動で計画的に取り入れていく。
・午睡部屋を使用するなど、楽器に触れられる機会を作っていく。
・コロナで地域との関りが減ってしまったので、散歩やハロウィン、おまつりごっこ等、独自に取り入れるようにしていく。

- 一時預かり : ・前日の退勤前までに、翌日の担当の配置場所を磁石で確認する。
・予約は事前に職員の状況を見ながら、受け入れ人数を確認し、予約表に記入しておく。
・登録はどんぐりの杜がやりやすかったため、来年度も利用していく。

- 子育て支援 : ・コロナ渦の中参加者を20組から15組に縮小してできたことはよかったが、予約が取りにくい状況になってしまった。
・ママボックスや水遊びなど、内容や参加人数に応じて、手伝いをお願いすれば良かった。
・参加者同士の関わりから不快な思いをさせないよう、見守り方や配慮の仕方、職員のつくポイントなど、声を掛け合いながら行いたい。

- 給 食 : ・セミバイキングの盛り付けで、量の調節が上手くいかない事が多かった。
当番の園児の盛り付け量に個人差があるので、配膳場所に盛り付けの見本を置いてみたい。
・個数で盛り付けの場合は、何個なのか数字の表記もするなど工夫したい。
・太り気味の園児が増えているので、そのような園児のおかわりの仕方を考えていきたい。

令和3年 1月 29日、30日に職員参加で実施した。

令和3年 2月 15日

記 録 : 若江真瞳花(主幹保育教諭)